

日本社会分析学会ニューズレター

2024年3号 [2024年9月11日発行]

発行：日本社会分析学会事務局
〒753-8511 山口市吉田1677-1
山口大学人文学部 桑畑研究室内
編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel: 083-933-5242 (研究室直通)
E-mail: sasa@jsasa.org
ホームページ: <http://jsasa.org/>
郵便振替口座: 01740-0-49579
(名義) 日本社会分析学会

◆研究例会の報告と予定

1. 第147回例会(2024年7月20-21日、北九州市立大学)は盛会に終わりました。開催校の皆様と、ご参集いただいた皆様に感謝申し上げます。
2. 次回、**第148回例会は、2024年12月21日(土)-22日(日)、佐賀大学(佐賀県佐賀市本庄町1)**にて開催します。詳細はプログラムとともに次号ニュースでご案内します。なお、状況によって、オンライン開催等に変更する可能性があります。適宜アナウンスしますので、ご注意ください。

◆第148回例会【研究報告】募集

次回例会で研究報告をご希望の方は、**報告者名、報告タイトル、報告時間を10月18日(金)必着で事務局まで**、お知らせください(郵送または電子メール)。対面のみの場合に報告、ないし、オンラインの場合にのみ報告、というご希望があればその点も明記してください。

報告時間は以下のいずれかを選んでください(指定がなければSとします)。

S: 持ち時間 30分(標準は報告20分+質疑応答10分)

L: 持ち時間 60分(標準は報告30分+質疑応答30分)

また、使用予定の機器を報告申込み時にお知らせください。

◆『社会分析』52号【一般投稿論文】募集中

◎一般投稿論文は、**原稿〆切10月1日**で募集中です。送付先は下記です。

原稿提出期限：**2024年10月1日(火)必着**

原稿送付先：学会事務局(メールまたは郵送で受け付け)

※メールでの投稿の場合は、sasa@jsasa.orgまで、原稿等のファイルを添付の上お送りください。事務局から受付確認のための返信を行いますので、事務局からの返信がない場合はお問い合わせください。

※郵送での投稿の場合は、投稿時には、原稿等の電子ファイルが入ったメディアを送付記録が残る方法でお送りください。また、封筒に「一般投稿論文」とご明記ください(メディアの返送をご希望の方はその旨明記ください)。

◎特集論文については一般投稿の募集はしていません。

『社会分析』へ論文を投稿される方へ

1. 投稿に際しては、『社会分析』表紙裏の「**投稿規定(2019年改正版)**」を遵守してください。
2. 英語で書かれた論文を投稿される場合には、必ず英語を母語とする方のチェックを受けたいうえで、ご投稿下さい。英文タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
3. 日本語を母語としない執筆者が日本語で投稿する場合には、必ず日本語を母語とする方のチェックを受けたいうえで、ご投稿下さい。日本語タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
4. 内容水準以前の形式的な点が守られていない原稿については、受理を保留して差し戻すことがあります。また、差し戻しに対して投稿者から迅速かつ適切な対応がなされない場合には、受理できない場合があります。

論文審査について

投稿された論文はすべて審査者2名による論文審査にかかります。審査者は編集委員ないし会員の中から適当な方をお願いします。編集委員長・特集担当者から依頼が参りますので、よろしく願い致します。審査と改訂はそれぞれ2回までを原則とし、年明け1月末までに編集を終えるべく、おおよそ以下のような日程で動きます。

初回審査(審査員)	4週間以内
→初回改訂(執筆者)	4週間以内
→第2回審査(審査員)	2週間以内
→第2回改訂(執筆者)	2週間以内
→最終的な掲載可否判断(編集委員会、特集担当者)	

審査者には審査論文とともに「論文審査票」をお送りしますので、それにしたがってできるだけ迅速にご協力ください。なお審査に当たっては、投稿者をエンカレッジする姿勢でお願い致します。立場や見解の違いは(アドバイスになるようなものは別として)、基本的には論文公開後の論争として展開いただき、審査においては「論文」としての完成度を高めることに主眼をおいていただきますよう、お願い致します。

〈書式統一へのご協力を〉

雑誌の書式統一のため、投稿者・査読者には以下の点で協力をお願いします。

- ◆ 投稿者は、投稿規定を遵守すること。(必ず『社会学評論スタイルガイド』をご参照ください。)
- ◆ 査読者は、投稿規定に準じた形式面のチェックも十分に行うこと。
- ◆ 投稿者は初回投稿時、原稿ファイルとともに執筆者情報のファイルを提出すること。
- ◆ 最終的には編集委員会で形式統一を行うので、最終稿の印字イメージと出来上がりイメージが異なることがある。この点をご了承いただきたいこと。

2024年度総会報告（2024年7月20日、北九州市立大学）

●報告事項

(1) 庶務報告

- ・会員数 138 名（前年度 144 名）
（購読会員 1 名 [前年度 1 件]、購読機関 27 件 [前年度 27 件]、寄贈機関 3 件 [前年度 3 件]）
- ・活動状況
例 会 2023 年 7 月 15 日・16 日 第 145 回例会（九州大学※ハイブリッド）
2023 年 12 月 23 日・24 日 第 146 回例会（大分県立芸術文化短期大学※ハイブリッド）
理事会 2023 年 7 月 15 日（ハイブリッド）
ニュース 4 回発行
- ・今後とも学会活動の活性化のためにシンポジウム・講演等の企画を積極的にご提案いただきたい。

(2) 編集報告

- ・『社会分析』51 号を 2024 年 3 月 31 日付で発行。
特集：「女性をめぐる社会的排除・包摂」：山下亜紀子会員に企画・編集を依頼。解題および 4 本の論文を掲載。
一般投稿：論文 1 本の投稿があり、審査の結果、論文 1 本の掲載。
書評：会員著作の書評 5 本（取り上げられた著作は 6 本）を掲載した。
- ・『社会分析』52 号（2025 年 3 月発行予定）について。
特集：「生活保障における自生的ネットワークの役割」：牧野厚史会員に解題・コーディネートを依頼。
一般投稿：原稿提出期限 10 月 1 日（提出先: 学会事務局）。
書評：対象書籍の推薦（自薦・他薦）、提出期限 8 月 31 日（提出先: 学会事務局）。

(3) その他

3. 議事

(1) 新入会員（2023 年 7 月 15 日以降）の承認

古川 直子	推薦者：事務局
牧野 芳子	推薦者：猿渡 壮
徐 雯雯	推薦者：牧野 厚史
陳 嘉韻	推薦者：吉武 由彩
正木 真一郎	推薦者：吉武 由彩
Zhou Baoshan（シュウ ホウサン）	推薦者：高野 和良
延 笑笑	推薦者：山下 亜紀子
万 文正	推薦者：高野 和良

⇒全員の入会が承認された。

(2) 2023 年度決算報告

◎会計資料

2023 年度決算報告※1

	項目	予算(円)	決算(円)	備考
収入の部	学会費	650,000	655,000	会費 131 件
	購読料	56,700	79,700	38 件 (※前年度会計締め日及び今年度学会誌の発行時期との関係による。また、内 1 件は振込手数料 100 円を差し引いた 2,000 円の支払い)
	利子、その他	20	26	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	706,720	734,726	
	前年度繰越金	3,210,213	3,210,213	
	総計	3,916,933	3,944,939	
支出の部	雑誌印刷費	400,000	350,000	51 号 200 部 (※発送委託費含まず)
	編集費	60,000	35,000	編集担当謝金、非会員執筆謝金 (※特集担当への謝金は次年度に持ち越し)
	通信費	60,000	83,828	ニューズレター・学会誌等郵送代 (※今年度は学会誌の発送を印刷会社に委託せず)
	事務局費	50,000	68,717	アルバイト費用、振込手数料、zoom pro 契約費用、封筒印刷費用、振込用紙印刷費用
	事務委託費	75,000	66,000	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	49,510	例会・理事会開催費
	企画事業費	50,000	0	
	予備費	40,000	40,000	社会福祉系学会連合会費、社会学系コンソーシアム会費 (2 年分)
	本年度支出合計	815,000	693,055	
	次年度繰越金	3,101,933	3,251,884	
総計	3,916,933	3,944,939		

※1 収入・支出とも 2024 年 7 月 4 日締。

監査報告

会計帳簿、預金通帳、現金、その他関係証拠について精査しましたところ、適正に処理されていたことを報告いたします。

2024 年 7 月 8 日

会計監査 加末和典



会計監査 吉武由彩



⇒承認された。

(3) 2024 年度予算案について

2024 年度予算案

	項 目	予 算 (円)	備 考
収 入 の 部	学 会 費	650,000	会費 130 件 (納入率 94.2%)
	購 読 料	56,700	27 件
	利子、その他	20	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	706,720	
	前年度繰越金	3,251,884	
	総 計	3,958,604	
支 出 の 部	雑誌印刷費	400,000	52 号 200 部 (抜刷、発送委託費含む)
	編 集 費	60,000	編集担当者経費、特集謝金、書評対象書籍代
	通 信 費	60,000	ニューズレター・機関誌郵送代
	事務局費	50,000	アルバイト費用、振込手数料、zoom pro 契約
	事務委託費	75,000	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	例会開催費
	企画事業費	50,000	シンポジウム経費等
	予 備 費	40,000	社会学系コンソーシアム会費、社会福祉系学会連合会費
	本年度支出合計	815,000	
	次年度繰越金	3,143,604	
総 計	3,958,604		

⇒承認された。

(4) 名誉会員への推挙

坂本 喜久雄会員、辻 正二会員

⇒承認された。

(5) EBSCO との契約について

⇒EBSCO への学会誌掲載について、契約を結ぶことが承認された。

(6) 学会規約の見直しについて（該当部分は下線部）

5.本会に次の役員をおきます。

（略）会長・理事・監査は、総会において会員中より選出し、理事・監査はそれぞれ選出時点において同一大学等から複数選出はしないものとします。

⇒同一機関からの役員選出に関する他学会の規定を確認しつつ、12月例会での臨時理事会・総会開催とそこでの承認に向けて継続審議とすることが報告された。

(7) その他

4. 閉会

◆会員異動（届出順、敬称略）

●入会

徐 雯雯

所属：熊本大学大学院

研究分野：ジェンダー、環境

陳 嘉韻

所属：熊本大学大学院

研究分野：地域社会学、福祉社会学

正木 真一郎

所属：熊本大学大学院

研究分野：福祉社会学（障害分野）

Zhou Baoshan

所属：九州大学大学院

研究分野：地域社会学

延 笑笑

所属：九州大学大学院

研究分野：社会学

万 文正

所属：九州大学大学院

研究分野：農村地域における高齢者の社会参加活動（福祉社会学）